

女性消防吏員活躍推進ガイドブック



咲き誇れ! この街で
輝け! 消防女子

私たちと一緒に働きましょう!

甲府地区広域行政事務組合消防本部

目次

はじめに	1
消防の仕事①	2
消防の仕事②	3
採用から配属まで	4
消防の勤務体制	4
Q&A	5
甲府地区消防音楽隊	6
女性専用施設	7
出産・子育ての支援制度	8
待遇	8
女性消防士について	9
教えて!消防のこと!	9
おわりに	10

はじめに

このガイドブックは、女性活躍社会の推進を図るうえで、これから社会人となる年齢層の女性に消防の魅力と消防業務における女性活躍の可能性を知っていただき、消防を志す女性を一人でも多く増やすことを目的に甲府地区消防本部が作成したものです。

甲府地区消防本部では平成14年に山梨県で初めて女性消防吏員*1を採用しました。以降、採用を続けたことにより、現在は8人の女性消防吏員が警防、救急、予防業務などさまざまな分野で活躍しています。活躍の場がたくさんあることはもちろん、産休、育休制度のほかにも女性が働きやすい制度が整っていたり、仮眠室などの女性専用の施設が整備されていたりと、ソフト・ハード両面で女性消防吏員が快適に働くことができる職場です。

消防は男性が活躍する職場のイメージが強いことから、体力に自信がないから無理だな…。男性ばかりの職場はちょっと気後れしちゃうな…。という方や、身体を動かすことが大好き!人のため、地域のために貢献したい!という方にも、このガイドブックを読んで「消防っていいな!私も消防士になってみたいな!」と思っていただけたら幸いです。

皆さんも魅力いっぱいの甲府地区消防本部で美しく咲き誇り、輝いてみませんか!

*1 消防吏員とは、消防本部に勤務する消防職員のうち、階級を有する者をいいます。

消防の仕事①

★ 警防業務

火災をはじめとする災害現場に駆け付け、ポンプ車、はしご車、水槽車、電源照明車など多くの車両や、資機材を駆使して火災や自然災害などの被害から地域住民を守っています。

災害対応時以外は、管轄する地域の地理・水利の調査や、火災防御訓練などを行い、災害に備えています。また、火災の原因調査や学校・事業所などの消防訓練指導を行い、火災予防にも努めています。



★ 救急業務

救急現場で、救急救命士の国家資格を持つ隊員などが、けが人や急病人に適切な処置を行います。また、症状が重い人は、医師の指示を受けて気管挿管、静脈路確保、薬剤投与などの救命処置を行い医療機関に搬送します。

救急活動時以外は、的確な処置がスムーズにできるよう現場活動を想定したシミュレーション訓練を行い、病院前救護の質の向上を図っています。



★ 救助業務

火災や交通事故など日常生活の中で起こる一般災害から自然災害、水難救助や山岳救助、そして大規模災害や特殊災害などあらゆる救助事案に対応します。

甲府地区消防本部には特別な資機材と人命救助の専門的かつ高度な教育を受けた救助隊員で編成された高度救助隊が配備され、いつでも出場できるよう体制を整えています。



消防の仕事②

★ 予防業務

商業施設やホテル、事業所、危険物施設などで火災が発生しないよう適切な指導を行うとともに、万が一、火災が発生しても被害を最小限に抑えることができるよう消防用設備等や避難経路などが消防法令等に適合しているか検査を行います。

また、建物の設計段階から、建築構造や消防用設備等が、各種法令に適合しているか審査や検査を行い、建物の安全確保に努めています。



★ 指令業務

24時間体制で119番通報を受け付けています。火災や救急などの119番通報を受けて通報内容に応じた出場隊を編成し、出場指令を行います。出場隊に的確な情報提供を行う情報支援や、各隊の無線統制を行い、災害現場の指揮命令の伝達をするなど、重要な役割を担っています。

また、必要に応じて救急隊員が到着するまでの間、通報者に対し心肺蘇生法等の口頭指導をするなど、救急救命活動の大切な一員となっています。



★ 本部業務

予算や人事、福利厚生に関すること、庁舎、車両管理及び情報システムの管理、消防広報など、ほかの自治体と同様、一般事務に関するもののほか、消防本部全体の運営が網羅できるよう多岐にわたる業務を行っています。



採用から配属まで

消防士として採用されると、山梨県消防学校で約8か月間の初任総合教育課程に入校します。

県内の他の消防本部の仲間と寝食をともにしながら消防士としての心構えを学び、基礎的な知識や技能・体力を身につけます。

初任総合教育課程の修了後は各消防署へ配属され、主に警防業務を行う消防隊員として勤務します。その後、数年のサイクルで人事異動があり、いろいろな職種を経験していきます。

配属後も従事する業務に応じて必要となる専門的な資格や知識、技能を学ぶために山梨県消防学校や消防大学校の専科教育を受講することなどでキャリアアップも図れます。



消防の勤務体制

隔日勤務のながれ

24時間勤務 2交替制

- 8:30 引継ぎ・車両資機材点検
- 9:00 事務処理・訓練・調査
- 12:00 昼休憩
- 13:00 訓練・調査・事務処理
- 17:15 休憩
- 18:30 事務処理・研修
- 22:00 夜間勤務・仮眠
- 6:00 環境整備
- 8:30 引継ぎ 業務終了

毎日勤務のながれ

月～金までの平日5日勤務
(土日、祝祭日、年末年始休み)

- 8:30 始業・ミーティング
事務処理・立入検査他
- 12:00 昼休憩
- 13:00 事務処理・立入検査他
- 17:15 業務終了

Q & A

Q

力仕事のイメージがあります。体力に自信がないのですが大丈夫ですか？

A

体力に自信がなくても大丈夫です。採用後約8か月間山梨県消防学校で初任総合教育課程に入校し、訓練を積み重ねていく中でしっかりと体力が身についていきますので心配ありません。配属後は、非番日や公休日を利用して各自がランニングや筋トレなどの体力錬成を行い、業務に必要な体力向上に努めています。

Q

女性が活躍できる分野はありますか？

A

消防の職種は幅広く、女性が活躍できる分野はたくさんあります。救急や災害の現場では女性やお子さんへの対応をするととても喜ばれます。また、立入検査では女性更衣室やエステサロンなど男性消防士が入室できない場所も検査ができるので、スムーズに業務が進みます。これまで女性の先輩がチャレンジしたことのない新しい分野を目指すこともでき、女性の活躍する場が広がることで、更なる住民サービスの向上が期待されます。

Q

採用試験は誰でも受験できますか？

A

出願の日より前に甲府市、甲斐市（旧竜王町、旧敷島町に限る。）、中央市及び昭和町（以下「組織市町」という。）の住民基本台帳に記載されている方に限ります。

ただし、就学・就労のため現に組織市町の住民基本台帳に記載されていない人でも、家族等が今回の採用試験申込日以前から組織市町の住民基本台帳に記載されている場合は、受験することができます。



Q

身長や体重に制限はありますか？

A

身長や体重に制限はありません。ただし、心身ともに健康で職務を遂行する上で支障のない身体、体力があることなどが必要です。

Q

採用試験ではどんなことをしますか？

A

第一次試験では最終学歴に応じた教養試験と消防適性試験があります。また、第二次試験では面接試験、論文試験、体力検査、身体検査があります。

Q

男性が多い職場で勤務することが不安です。大丈夫でしょうか？

A

最初は緊張したり戸惑ったりすることもちろんありますが、勤務をしていくうちに自然と慣れてきます。また、隔日勤務の時には家族より職場で過ごす時間が多いので、上司や同僚は第二の家族のような存在になります。普段は和やかに、訓練や災害出動では一つの目標に向かって一致協力するメリハリのついた職場です。

また、女性専用施設が設けられているので、プライバシーも守られています。悩みごとがある場合には、信頼できる上司や女性の先輩にいつでも気軽に相談できます。

甲府地区消防音楽隊

消防士はみんな体育会系なんだろうな…と思っていませんか？

甲府地区消防本部には消防音楽隊があり、音楽を通じて住民の防火意識を高めてもらうため、甲府地区管内で広報活動を行っており、学校や企業からの出演依頼も多く、たくさんの方々に喜ばれています。

全隊員が普段は火災や救急現場で働く消防士です。隊員の中には楽器経験者もありますが、約半数は未経験からスタートした隊員ですので、これから楽器にチャレンジしたい方も、経験のある方で、引き続き演奏を楽しみたい方も大歓迎です。

甲府地区消防音楽隊で活躍してみませんか？



女性専用施設

現在、女性が隔日勤務を行っている中央消防署と南消防署には女性専用施設が整備されています。

女性専用施設はユニットバス、洗濯機、洗面台、更衣用ロッカーが完備されています。2署ともに最大4人が当直勤務することが可能です。これらすべての設備を女性が専用で使用できます。

女性専用施設は施錠ができるのでプライバシーが守られており、安心して過ごすことができます。

中央消防署



南消防署



出産・子育ての支援制度

甲府地区広域行政事務組合の規則及び規程に基づき、仕事と子育てを両立するために休暇等を取得することができます。

また、妊娠中に制服の着用が困難になった場合には、マタニティ執務服が支給されます。

妊娠中又は出産後の職員の通院休暇

妊娠中又は出産後1年以内は通院のため休暇を取得することができます。

産前及び産後の休暇

出産予定日前8週間にあたる日から出産の日後8週間に当たる日までの期間内休暇を取得することができます。

育児休業

子どもが3歳に達する日まで休業を取得することができます。

部分休業

子どもが小学校就学前まで一日の勤務時間の一部を勤務しないことができます。

子の看護休暇

けがや病気の中学校就学前の子どもを看護するために休暇を取得することができます。

育児又は介護を行う職員の深夜勤務と時間外勤務の制限

小学校就学前の子どもを持つ職員が請求した場合、公務の正当な運営を妨げない場合を除き、深夜勤務をさせてはならないことになっています。

また、3歳未満の子どもを持つ職員が請求した場合には同様に深夜勤務をさせてはならないことになっています。



待遇



❖初任給

大学卒業 月額 195,500円

短大、専修学校卒業 月額 182,200円

高校卒業 月額 165,900円

❖その他手当

通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、休日勤務手当など

昇給 年1回

賞与 年2回(6月・12月)

※令和2年4月1日現在

女性消防士について

甲府地区消防本部では8名の女性消防士が勤務しています。

総務省消防庁では令和8年までに女性消防士の割合を全体の5%とすることを目標としています。



女性消防士の割合（カッコ内は全消防職員数）

全 国	4,736名	(163,907名)	2.9% ^{*1}
山梨県内	20名	(1,223名)	1.6%
甲府地区	8名	(334名)	2.4%

※令和2年4月1日現在

*1は平成31年4月1日現在

教えて！ 消防のこと！

●女性消防士に聞きました。

この仕事のやりがいと魅力を教えてください！

直接的、間接的かを問わず、すべての職種が消防の使命である「住民の生命、身体、財産を守る」ことに繋がっています。辛いことや苦しいこともあります、それを吹き飛ばすほどの達成感や喜びがある仕事です。

また、年に一度のJFFW^{*1}交流会では全国から集まった女性消防吏員との研修や業務に関する情報交換だけでなく、女性としての生き方のヒントを得ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができます。

交流会は開催地が毎年変わるので、日本各地の気候風土に触れ、その土地のグルメを楽しみながら仲良くなった仲間と語らうことで、心が満たされていくのを感じます。

^{*1} Japan Fire Fighting Woman's Clubの略で全国の女性消防職員が自主的に集まり、全国規模でつないだネットワーク

これまでのキャリアを教えてください！

消防学校卒業後は、消防署の警防係に配属され、隊員や機関員として火災・救急現場などへ出場していました。その後は消防署の査察係、消防本部の予防課に配属され、現在も予防査察業務に従事しています。

今後も更なる知識を身につけて、火災を1件でも減らし、圏域住民の皆様が笑顔で暮らすことができる街づくりに貢献したいと思います。

妊娠がわかってから産休、育休を経て職場復帰までの流れを教えてください！

妊娠を上司に報告したその日のうちに隔日勤務から毎日勤務へ異動するよう配慮をしてくださいました。産休を経て1年半の育休後に職場復帰をしましたが、職場復帰時に二人目を妊娠していたので、復帰後約半年で2度目の産休と育休を取得することになりました。産休や育休を取得することで同僚へ迷惑をかけてしまうのではないかと不安になったり、仕事のブランクや子育てとの両立、復帰後の働き方に悩んだりしましたが、周囲の理解やサポート、部分休業などの充実した制度のおかげで仕事と家庭の両立ができ、安心して働くことができています。

●男性消防士に聞きました。

女性消防士と一緒に働いていて感じていることを教えてください！

- いつも元気な声で職場を明るくさせてくれます。
- 何気ない会話や行動がハラスメントにならないように気を付けています。
- 柔らかな窓口対応が来庁者に安心感を与えるので円滑な業務遂行が図れていると思います。
- 体力面に不安があると思いますが、不安を解消するために一生懸命努力していると思います。
- 訓練など一生懸命取り組む姿は、私たちももっと頑張ろう!と思うきっかけを与えてくれます。
- 消防の仕事はチームプレーなので隊員それぞれの良さを発揮しながら活動しています。
- 複雑多様化する時代に対応するため、消防にも女性目線での対応が必要だと思います。
- 大型免許を取得して機関員として活躍したり、救急救命士の資格取得に向けて頑張ったりしている女性もいるので、今まで以上に女性の活躍が楽しみです。



おわりに



「消防士は男性の職業」というイメージは変わりましたか？きっと女性も活躍できる職場だということがお分かりいただけたかと思います。

消防の仕事はここに書ききれないほどたくさんのやりがいや魅力が詰まっています。このガイドブックを通して「消防の仕事っていいな!」という気持ちが少しでも芽生えたら、なりたい職業の選択肢の一つに「消防士」を加えてください。

他にももっと知りたいことや不安なことがあると思いますので、どんな小さなことでもお気軽にご連絡、ご相談ください。

甲府地区消防本部の職員一同、皆さんと一緒に働く日が来ることを楽しみにしています。

連絡先：甲府地区広域行政事務組合消防本部 055-222-1190(代表)



甲府地区広域行政事務組合消防本部

〒400-0856 山梨県甲府市伊勢三丁目8番23号

電話 055-222-1190 (代表)

<http://www.kfd.or.jp>



この印刷物は紙ヘリサイクル可

